

出来る限り、以下の様式に沿った議事録を作成下さいますようお願いいたします。

(様式 2)

議事録番号

提出 2024 年 3 月 31 日

## 会合議事録

研究会名：ソフト界面科学研究会

日 時：2024 年 3 月 26 日

場 所：オンライン (Zoom)

出席者：(議事録記載者に下線)

<u>矢野陽子</u>	<u>近畿大理工</u>
松原弘樹	広島大学
西 直哉	京大院工
伊奈稔哲	JASRI
渡辺 剛	JASRI
平山朋子	京都大学
安倍悠朔	早稲田大学大学院創造理工学研究科
堀井 洋司	奈良女子大学
谷田肇	日本原子力研究開発機構
副田康平	中外製薬株式会社製剤研究部
水上雅史	東北大学
田中優彦	東京農工大学大学院
宇留賀朋哉	公益財団法人高輝度光科学研究センター
荷見 遥	奈良女子大学院 吉村研究室
川本真由	奈良女子大学大学院
秋山沙希	奈良女子大学大学院
雑賀あずさ	産業技術総合研究所機能化学研究部門
山田実季	奈良女子大学理学部化学生物環境学科
永元 公市	リンテック株式会社
上戸あいら	株式会社住化分析センター
Chandan Kumar	Nagoya University
大野広明	豊田合成株式会社
近間克己	日産化学株式会社
矢田詩歩	東京理科大学
今井 洋輔	九州大学

下村 鈴之介	北日本電線株式会社
花王株式会社	解析科学研究所
鳥飼直也	三重大学
亀田太朗	東京理科大学
広部愛莉	奈良女子大学
石井統也	香川大学
計 31 名	

## 研究会の目的

SPring-8 ユーザ協同体 (SPRUC) のソフト界面科学研究会は、SPring-8 の高輝度放射光を利用した X 線反射・回折・吸収などの多彩な手法を駆使し、ソフト界面 (液/液、気/液界面) とそこに形成されるソフトな分子薄膜の構造や挙動を研究対象としています。あるがままの時空間で計測・解析するための基盤技術を構築するとともに、研究者間の情報交換や討論などを通じてソフトな界面が関与する系の先端学問を創造することを目指しています。

BL37XU の溶液界面 X 線反射率計は、当研究会の要望により設立され、これまでオリジナリティの高い研究成果を多数輩出しています。今回は、錯体化学、コロイド界面化学分野の専門家を招いて、オンラインで研究会を開催しました。

## プログラム:

### 1.活動報告 (20 分) 矢野陽子 (近畿大学)

2024A 期の申請数は 3 件で内採択数が 0 であった現状の報告と 2024B 期の申請の呼びかけを行った。

### 2.最近の研究から (時間は質疑込み) 座長 西直哉 (京都大学)

#### (1)単分子磁石からなる超薄膜の合成と分子修飾による構造制御 (60 分)

堀井洋司 (奈良女子大学)

水面上の金属錯体分子の磁化と構造の関係について本研究会で立ち上げた溶液界面反射率計での測定結果を交えてご発表いただいた。

#### (2)界面活性剤吸着膜の相転移を利用した乳化物性の制御 (60 分)

松原弘樹 (広島大学)

水面上の界面活性剤と他成分の混合膜の構造相転移について本研究会で立ち上げた溶液界面反射率計での測定結果を交えてご発表いただいた。

### 3. 討論 (30分) 谷田肇 (JAEA)

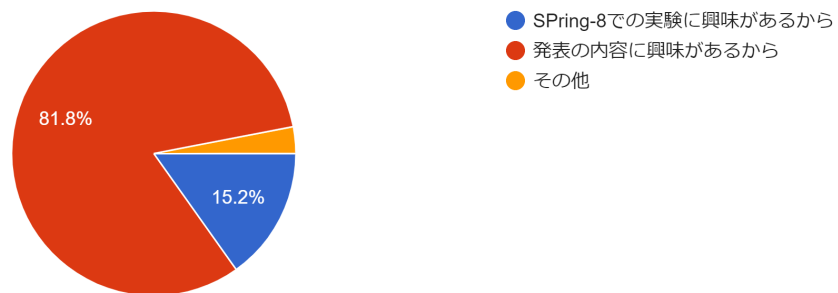
(1) SPRUC 第6回 BLs アップグレード検討ワークショップの報告:

Spring-8II にもなう BL37XU のシャットダウンはまだ未定。

(2) 動向調査 (要望など) 議題: 新規ユーザー確保のために参加登録の際にアンケートを取った。結果は以下の通り。

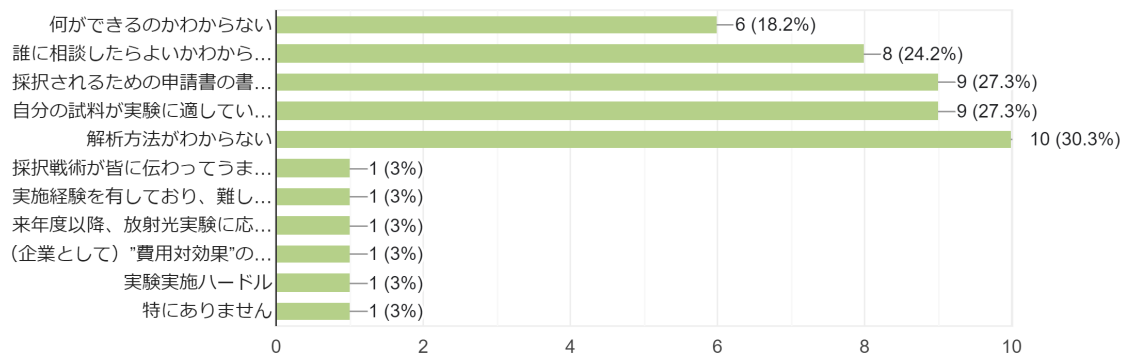
#### 1. 参加の理由について

33件の回答



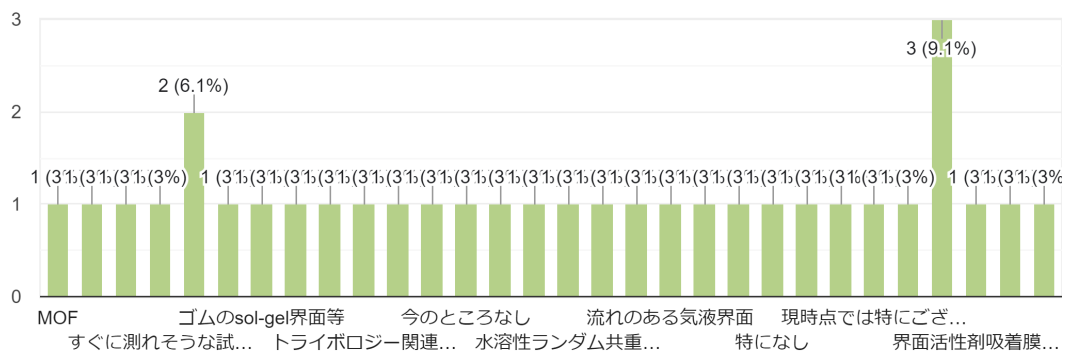
#### 2. SPring-8での実験が難しいと思う点は何ですか？

33件の回答



3. 気液界面、液液界面で構造が知りたい試料をお持ちでしたら具体的に書いてください。

33件の回答



当日は、参加者に呼び掛けて、実験実施のための具体的なプロセスについて説明した。